

# 社会福祉法人 弘文会立 那覇市認定こども園 識名こども園

## 第三者評価結果報告書

### 【 開園4年目 2回目受審 】

#### ① 識名こども園の情報

名称： 識名こども園	種別： 那覇市公私連携認定こども園		
代表者氏名： 興那覇 利香代 園長 崎濱 貴史 副園長	定員（利用人数）： 105 （ 107 ）人		
所在地： 那覇市識名 2-2-1			
TEL (098) 836-0850	ホームページ： <a href="http://www.shikina-kodomoen.com/">http://www.shikina-kodomoen.com/</a>		
【認定こども園の概要】			
開園年月日： 2016年（平成28年）4月1日			
経営法人・設置主体（法人名）： 社会福祉法人 弘文会			
職員数	常勤職員： 14名	非常勤職員： 2名	
職員	園長 1名	主幹保育教諭 1名	
	副園長 1名	副主幹保育教諭 1名	
	事務員 2名（1名育休）	保育教諭 8名（1名育休）	
設備等の概要	園舎 520㎡ R造 1F（学校敷地内）		
	幼児教育・保育室（3～5歳児 56㎡×4室）・遊戯室 111.96㎡・職員室 62.1㎡ 職員更衣室、屋外遊戯場（園庭）		
建築年月（築年数）	1996年（平成8年9月） 【 築23年 】		
移管前（2015年4/1） 児童人数	57人（2クラス 5歳児）		
現在の児童人数	107人（4クラス 3～5歳児 複数年保育）		

#### ご利用状況

1号	5歳	4歳	3歳	計
定員	20人	10人	5人	35人
利用人数	16人	7人	3人	26人

2号	5歳	4歳	3歳	計
定員	40人	20人	10人	70人
利用人数	44人	21人	16人	81人

## ② 評価を実施した第三者評価機関名

名 称	(株) 第三者評価 <a href="http://daisansha.lolipop.jp/kindergarten.html">http://daisansha.lolipop.jp/kindergarten.html</a>
所 在 地	大阪市東淀川区東中島1-17-5 ステュディオ新大阪
訪問調査日	訪問調査日 2019年10月29日 (火)
評価調査者 2名	リーダ I・II・III章担当 吉山 浩 (兵庫県・大阪府・全社協研修受講) IV章担当 江木 朋子 (兵庫県・大阪府研修受講)
保護者アンケート実施	2019年9月 回収率 94.7% ( 回収 90 / 配信 95 )
評価結果確定日	2019年11月8日 (金)

## ③ 法人理念、教育・保育目標

<b>法 人 理 念</b>	礼にはじまり 礼に終わる
<b>教育・保育目標</b>	心豊かなたくましい子
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的な生活習慣を身につける。</li> <li>・ 思いやりのある子どもに育てる。</li> <li>・ 仲よく遊びやる気を育てる。</li> </ul>

## ④ 識名こども園の特色ある幼児教育・保育活動

1	<p style="text-align: center;">遊 び</p> <p>遊びを通して学ぶ事を大切にしており、子ども達に自然体験の場やさまざまな生活体験活動を豊富に取り入れ豊かな心と健康な体、そして豊かな感性を育てています。午後の交流時間は、異年齢児の関わりを深め、年少・年中児は憧れをもち意欲を高め、そして年長児は世話をすることで自立心が育つように取り組んでいます。</p>
2	<p style="text-align: center;">なぎなた</p> <p>法人の特徴でもあります武道なぎなたの心を通して、園児の豊かな情操と道徳心を育み、生涯にわたる人格形成の基礎を担ってまいります。「礼に始まり 礼に終わる」なぎなたの精神は人に対してだけでなく、物に対しても、さらには自分を含めた全ての物に「礼を尽くす」事が成長につながっていくと考えています。礼儀、姿勢、集中力、発声、気力、服装、態度などを習得し知育、体育、道徳を幼児期の基盤づくりとして取り組んでいます。</p>

	<p>英 語</p> <p>いろいろな体験を通してイメージや言葉を豊かにして異文化に触れることを目的としています。</p> <p>ウチナー口</p> <p>講師に地域の方を招いて、沖縄の伝承文化を知り、簡単なウチナー口に親しみながら日常生活にとり込んでいけるようにしています。</p>
3	<p>植物や小動物との関わり</p> <p>一年間を通して菜園活動や四季折々の花を育て、花と緑に囲まれた園づくりを目指しています。小動物（うさぎ、亀、グッピー）の世話をする事で、命の大切さや思いやりの心を育み、収穫した食物は調理をして食することで、食物を大切に作る心や感謝の心を伝えています。また、自然観察の中で「オオゴマダラ」の生育観察に目を輝かせ、感動を覚えて感性を豊かにします。</p>
4	<p>小学校との連携</p> <p>こども園、小学校それぞれの教育内容や子どもの実態の情報交換などの連携を図り（申し送りや1年生の先生との話し合い、相互の保育（授業）参観、支援児の情報交換、小学校の行事への参加、1年生・5年生との連携等）、こども園から小学校への移行を円滑にし、子どもの望ましい成長をめざした教育が進められるよう取り組んでいます。又、職員間も研修などを通して連携を図っています。</p>
5	<p>地域との連携</p> <p>沖縄の伝統行事、文化、地域の伝統行事、文化遺産、施設などを大切にし、地域活動にも積極的に参加しています。地域にある文化遺産の識名園散策、繁多川公民館では、ゆし豆腐作りを学び、自治会の夏祭りでは、エイサーや旗頭で参加、繁多川図書館司書による読み聞かせ、老人福祉センターへの福祉まつり、児童館の活用等、子ども達に自分の住んでいる地域の取り組みや素晴らしさを伝えていきたいと思っています。</p>

## ⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和元年6月20日（契約日）～ 令和元年11月8日（評価結果確定日）
受審回数	2回目（前回は2017年度）

## ⑥ 総 評

<p>◇ 特に評価の高い点</p> <p>(1) 園の教育・保育理念、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』に則って作成された「全体的な計画」は、子ども一人ひとりの人権と自主性を尊重し健やかに育む教育・保育を、具体的に実践するために、様々な領域にわたりきめ細かく作成されています。職員は、教育・保育内容の充実を目指して研修・研鑽を重ね、一丸となって取り組んでいます。</p>
--

- (2) 小学校と隣接していることを有効に活用して、緊密な連携体制が構築されています。職員間のみならず、幼児と児童の交流や保護者参加の取組も充実しており、就学に向けて段差を滑らかにするアプローチカリキュラムが丁寧に作成され、有効に活用されていました。また地域との関りを深める取組も充実しており、地域活性化に貢献していました。
- (3) 子どもが主体的に自ら遊びを選択して十分に遊びこめる時間・空間・物等の環境が保育室、園庭にちりばめられるように工夫を重ねていました。特に環境認識につながるコーナーは子どものやりたい気持ちを受け止め継続して遊びが発展できるようにきめ細かく配慮されていました。また、異年齢交流保育ではその意義を大切にしていました。当園の理念である「笑顔いっぱい 友だちいっぱい やる気いっぱい」の感性豊かな子どもの育成を願い、人的環境である保育教諭は、穏やかで受容的であり、子どもとの信頼関係を基盤として、適切に遊びの援助ができるように関わっていました。
- (4) 『那覇市子ども子育て支援事業計画』に沿う待機児童0（ゼロ）に向け、移管後 3歳児、4歳児クラスを新設し、約2倍増の園児受け入れを行い、5歳児の35人学級から30人学級への変更によるきめ細かな幼児教育・保育の実現、早朝受入、土曜保育、4月1日受入実施（春季休業期間中の保育）、地域の子育て家庭に対する支援、給食の提供等を実施され、保護者満足度も高く上昇させ、市の待機児童0（ゼロ）目標にも大きく貢献しています。  
また、市の協定通り、2017年度の2年目（前回）、2019年度の4年目（今回）2回の第三者評価を受審されました。那覇市だけでなく、沖縄県内においても、初の2回受審です。
- (5) 園長、副園長、主幹保育教諭、副主幹保育教諭、事務員の5名を中心に仕組みの再点検を行いました。持ち味の異なる5名は、バランスの良いチームで、アサーション（assertion: 自分の意見を相手の立場を尊重しながらもしっかり伝えるコミュニケーション術）が出来、「言える勇気」と「それを聞く心の余裕」があると感じました。組織的・体系的・計画的な仕組みを発展拡大するには、3～5名の人財が必要です。「継続こそ力なり」ですので、継続しより良い教育・保育を発展拡大させて下さい。

## 2度目の受審の為、きびしめの評価を実施しています

### ▼ 改善を求められる点 （ b 評価となった 2 項目 ）

- ① 評価基準 22番 II-3-(1)-② 外部監査が行われていませんでした。
- ② 評価基準 43番 III-2-(3)-② 重要な記録の保管期間の取り決めが見える化されていません。

### △ 推奨事項 2 件

- ① 評価基準 39番 III-2-(1)-② 標準的な実施方法の見直し  
全マニュアルの目次や、一覧表にてマニュアルの改訂履歴が分かる仕組みの構築を期待します。
- ② 評価基準 63番 IV-2-(3)-② ケータリング業者（OD社）との契約書の内容に  
「調理従事者等の衛生管理点検表」（モーニングチェック）、「中心温度測定表」、「中心温度計の校正の記録」等の衛生管理上で重要な記録の確認を盛り込む事を「給食会議」で話し合ってください。

## ⑦ 第三者評価結果に対する 識名こども園のコメント

- ・記録の保管期間の取り決めを法人で行い、マニュアル等も目次や一覧表にして分かりやすく見える化していきたいと思います。
  - ・保護者のアンケートでは94.7%の回収率で、全体的評価は高い満足度で、2回目の受審も安心いたしました。「保護者への教育・保育方針や目標が保護者等へ周知が図られているか」の項目で前回は周知が61.8%だった為、今回は園便りに毎月載せ、園庭の掲示板にも記入する等の工夫をしたのですが、68.8%となっており、新たな工夫をしながら更に保護者へ周知をしていきたいと思います。
  - ・毎月1回ケータリング業者も交えて給食会議を行っていますが、衛生管理や検食簿を通しての話し合いだけでなく、衛生管理上で重要な記録の確認や委託先の訪問が出来るような体制もケータリング業者と話し合っていきたいと思います。
  - ・前年度の職員自己評価から、環境の部分が弱いとの結果があり、今年度は園内研究の課題として園内外の環境に園全体で取り組んでいました。
- 「⑥ 総評」結果の中に「子どもが主体的に自ら遊びを選択して十分に遊びこめる時間・空間・物等の環境が保育室、園庭にちりばめられるように工夫を重ねていました。特に環境認識につながるコーナーは子どものやりたい気持ちを受け止め継続して遊びが発展できるようにきめ細かく配慮されていました。」の評価があり、まだまだ勉強中で園内研修にも取り入れていく部分ではありますが、職員の励みになります。今後も課題の見直しや改善を行いながら、職員一同精進していきたいと思います。

## 評価細目の第三者評価結果

各項目右端の評価結果欄 a、b、c のレベル（到達度）について

- a 全ての項目を満たす 目標となる高いレベル
- b 1つ以上の項目を満たす 標準的レベル
- c いずれの項目も満たさない 改善が必要なレベル

◎ 2度目の受審の為、きびしめの評価を実施しています

### 評価対象 I 基本方針と組織

I-1 教育・保育方針・目標		第三者評価結果					
I-1-(1) 教育・保育方針・目標が確立・周知されている。							
①	I-1-(1)-① 教育・保育方針・目標が明文化され周知が図られている。	◎・b・c					
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>教育・保育方針・目標は、「園のしおり」・「園だより」・ホームページ等に掲載し周知しています。教諭には、行動規範となるよう、「教育・保育課程等の指導計画」に反映させ周知しています。保護者には、園長から説明会、懇談会で、丁寧に説明しています。また、玄関にも掲示しています。</p> <p>訪問調査10/29の際に、教諭の脳裏に方針・目標が刻み込まれているか筆記テストを行い、確認しました。</p>							
<h3>アウトカム (outcome) 評価 &lt; 園の取組み結果・方法に対する評価 &gt;</h3>							
<p>I-1-(1)-①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>⑤ 教育・保育方針や目標が保護者等への周知が図られている。</li> <li>⑥ 教育・保育方針や目標の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。</li> </ul>							
<p>2019年9月実施 保護者アンケート結果 (総数 95 世帯) 回収率 回収90 / 配付95 = <b>94.7 %</b></p>							
<p>設問1 こども園の理念・方針をご存じですか？</p>							
<p>回答 ⑤よく知っている 12 (13.3%) ④まあ知っている 50 (55.5%) ③どちらともいえない 9 (10.0%)                  ②あまり知らない 18 (20.0%) ①まったく知らない1 (1.1%) ①未記入 0 (0%)</p>							
年齢	⑤	④	③	②	①	①	計
3歳 にじ組	1	9	0	1	0	0	11
4歳 おひさま組	4	14	2	3	0	0	23
5歳 うみ組	2	12	3	8	1	0	26
5歳 そら組	5	15	4	6	0	0	30
合計	12	50	9	18	1	0	90

⑤ よく知っている 12 (13.3%) + ④ まあ知っている 50 (55.5%)

= 合わせて 62 (68.8%) . . . **もう少し上げたいレベルです**

AA 想定する周知状況になっているか？

BB どの程度の周知状況が目標なのか？

毎年、『理念』や『方針』の保護者への周知状況を保護者アンケート等で確認し、取り組み方法の妥当性を確認すると共に、⑤よく知っている + ④まあ知っている で合わせて 何%程度を目標値とするのか園内で議論され、数値による目標管理も合わせてご検討下さい。【 数値目標があると知恵が深まります 】

I-2 経営状況の把握		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	Ⓐ・b・c
3	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	Ⓐ・b・c
<コメント>  『第2次那覇市教育振興基本計画（平成28年3月）』、『那覇市子ども・子育て支援事業計画（平成27年～31年）』、『那覇市立幼稚園の今後のあり方について（平成27年7月）』を参考にし、理事会、法人園長会議（年4回）、那覇市認定こども園園長会（月1回）にて、市からの待機児童情報や、子育て支援、利用者の声からニーズ等を把握しています。平成28年度より4歳児、平成29年度より3歳児の受け入れも実施し、教育的効果の高い複数年保育を実施しています。		

I-3 事業計画の策定		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	Ⓐ・b・c
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	Ⓐ・b・c
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、教諭が理解している。	Ⓐ・b・c
7	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	Ⓐ・b・c
<コメント>  「中長期3カ年計画（令和元年～3年度）」を策定し、職員室に掲示したり、会議等で教諭に周知しています。その内容を期毎の進捗状況を追うことで、PDCAのCチェック機能を働かせ、見直しを行っています。進捗状況は、「事業報告書」に記載し、その振り返りを基に「次年度の事業計画」を策定しています。園長は、「中長期3カ年計画」や「年度事業計画」の要旨を、「園案内」に記載し、保護者説明会、懇談会等で説明しています。  【 中長期3カ年計画（令和元年～3年度）の主な内容 】  令和元年度 実施 . . . 法人内職員移動、保育教諭増員、園庭遊び用具購入、砂場の日除け・AED設置 第三者評価受審（2回目）、災害対策用備蓄品の購入、保護者ゆんたく会実施 繁多川夏祭り・識名福祉祭り・綱引き等参加 等  令和2年度 実施予定 . . . 廊下の雨除け設置、廊下の手すり改築、用務員採用、自然遊び（外部講師）、		

タイムタイマー購入、繁多川夏祭り・識名福祉祭り・綱引き等参加 等	
令和3年度 実施予定・・・	教室の床の張替え、知育玩具購入、監視カメラ設置、うさぎ小屋設置 保護者引渡し訓練、繁多川夏祭り・識名福祉祭り・綱引き等参加 等
【 当該年度 令和元年度事業計画の主な内容 】	
実施済	・・・ 上記の計画通り、順調に実施
実施予定	・・・ 公民館まつり（1月）、識名福祉祭り（1月）、 市の道路交通課に要望提出中の送迎駐車場入り口へのミラー設置

I-4 教育・保育の質の向上への組織的・計画的な取組		第三者評価結果
I-4-(1) 教育・保育の質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 教育・保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a・b・c
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>幼児教育・保育の質の向上に向けた取組として、組織的・体系的・計画的な毎年の園の運営管理に関する自己評価の実施、及び 自己評価結果の園内での閲覧が可能な体制としています。</p> <p>平成28年度（1年目）は、保護者評価や学校関係者評価・改善の実施 及び その結果のHPによる公開、今年29年度（2年目）は、評価基準に基づく第三者評価の受審及びその結果のHPによる公開を行いました。</p> <p>また、今年度令和元年度（4年目）には、市との協定に基づき、2度目の評価基準に基づく第三者評価の受審を行い、近々 その結果の公開を予定しています。</p> <p>改善面では、2年前（2018年1月）実施時の保護者アンケートで見られた要望が減っている事や、スタッフ会議の議事録や、実際の改善事例を確認しました。</p>		



評価対象 II 組織の運営管理

II-1 管理者の責任とリーダーシップ		第三者評価結果
II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	II-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	Ⓐ・b・c
11	II-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	Ⓐ・b・c
II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	II-1-(2)-① 教育・保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	Ⓐ・b・c
13	II-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	Ⓐ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>(1) 園長の役割と責任を「職務・業務分担表」に記載し、職員会議等で、教諭に説明し、理解を促しています。また、保護者に対しては、入園説明会や懇談会等で説明しています。 (園長、及び 副園長、主幹保育教諭は、今年度より昇格し、経営管理面も猛勉強中)</p> <p>(2) 園長は、法令が改定された時は外部の研修に参加し、那覇市認定こども園園長会でも法令を学んでいます。また、「遵守すべき法令一覧表」を作成し、法令と保育の関係について、会議や基本理念研修で教諭に伝えています。</p> <p>(3) 訪問調査10/29の際に、教諭の脳裏に関係法令が刻み込まれているか筆記テストを行い、確認しました。</p> <p>教諭が回答した関係法令の一部抜粋：</p> <p>①子ども・子育て支援法 ②認定こども園法 ③学校教育法 ④児童福祉法 ⑤社会福祉法 ⑥個人情報保護法 ⑦労働安全衛生法 ⑧消防法 ⑨児童虐待の防止等に関する法律 ⑩食品衛生法</p> <p>(4) 園長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために、運営状況を確認しながら、職員数、労働時間、人件費の比率を勘案しながら分析しています。相談窓口を設け、気兼ねなく仕事ができるように配慮し、子どもの人数やスキルに合わせて人員配置を行っています。 また、教育委員会からの研究テーマや各クラスの研究テーマを持たせる事で保育教諭の意識を高めています。</p>		

II-2 人材の確保・育成		第三者評価結果
II-2-(1) 人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	II-2-(1)-① 必要な人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	Ⓐ・b・c
15	II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	Ⓐ・b・c
II-2-(2) 教諭の就業状況に配慮がなされている。		
16	II-2-(2)-① 教諭の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	Ⓐ・b・c
II-2-(3) 教諭の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	II-2-(3)-① 教諭一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	Ⓐ・b・c
18	II-2-(3)-② 教諭の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	Ⓐ・b・c
19	II-2-(3)-③ 教諭一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	Ⓐ・b・c
II-2-(4) 実習生等の教育・保育に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	II-2-(4)-① 実習生等の教育・保育に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積	Ⓐ・b・c

極的な取組をしている。
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>(1) 「教育・保育計画」に、「目指すべき保育教諭像」を明示し、会議で必要な人材や人員体制に関する基本的な考え方を確認し、育成に関しては「キャリアパス」に記載しています。</p> <p>(2) 人事評価基準を、『保育士保育教諭評価』に定め、教諭全員に周知し、人事考課制度で、年度末に面接を行い目標最終達成度、次年度への課題を確認しています。この人事考課は、報酬にも反映され、よく出来ています。 また、内閣府の経営実態調査、求人情報等で他施設の情報等も参考に、比較・検討し、処遇水準の妥当性を確認しています。</p> <p>(3) 園長が、職員の就業状況や意向を確認し、「働きやすい職場」を目指す責任を認識しています。 育児・介護休業や短時間労働のシステムがあり、時間外労働の削減に取り組んでいます。</p> <p>(4) 教諭一人ひとりの育成に向けた取組は、「年間研修計画」を作成し、個々の職員が必要としている研修を受講したり、学ぶ機会を作っています。</p> <p>(5) 実習生等への指導・育成の体制は、『実習マニュアル』に沿って、積極的な取組みを行っています。 事前に学校側の担当教諭との打ち合わせを行い、実習生とは事前オリエンテーションを行って、養成校や実習生等の意見・感想を取り入れながら『実習プログラム』を作成しています。</p> <p>【 直近3カ年 実習生受け入れ実績 】 令和元年度 4人 平成30年度 3人 平成29年度 2人</p>

Ⅱ-3 運営の透明性の確保		第三者評価結果
Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	Ⓐ・b・c
22	Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>(1) 運営の透明性を確保するための情報公開は、園ホームページ、園のしおり、園だよりで行っています。 苦情解決の現状報告についても、毎月、ホームページにて個人情報に関するものや申込者が拒否した場合を除き、公表し改善に務められています。</p> <p>【 園のHP や WAMNET 社会福祉法人の財務省表等、電子開示システムによる情報公開の状況 】</p> <p>2019年10月29日現在 (社会福祉法改正に基づく)</p> <p>① 貸借対照表、② 収支計算書、③ 現況報告書、④ 役員区分ごとの報酬総額、⑤ 定款 ⑥ 役員報酬総額 公開されている事を確認しました。</p> <p>WAMNET 社会福祉法人の財務省表等、電子開示システム</p> <p><a href="http://www.wam.go.jp/wamnet/zaihyoukaiji/pub/PUB0200000E00.do">http://www.wam.go.jp/wamnet/zaihyoukaiji/pub/PUB0200000E00.do</a></p> <p>(2) 事務・経理・取引に関することは事務の統括責任者が行い、ルール化されています。 顧問税理士が、週に1回財務調査・報告を行っています。指摘事項があれば、すぐに対応し経営改善を行っています。また、年1回の監事監査も受けています。 ただ、外部監査に関しては、実施されていませんでした。</p>		

★ 同法人は、収益 20 億円を超える法人又は負債 40 億円を超える法人ではありません。

備考) 外部監査について 会計監査人の設置義務法人の範囲について  
 ( 厚生労働省 平成 28 年 10 月 21 日付け  
 第 5 回社会福祉法人の財務規律の向上に係る検討会の資料より抜粋 )

- ・ 平成 29 年度、平成 30 年度は、収益 30 億円を超える法人又は負債 60 億円を超える法人
- ・ 令和元年度、令和 2 年度は、収益 20 億円を超える法人又は負債 40 億円を超える法人
- ・ 令和 3 年度以降は、収益 10 億円を超える法人又は負債 20 億円を超える法人  
 と段階的に対象範囲を拡大。

Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献		第三者評価結果
Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	Ⅱ-4-(1)-① 子ども・保護者と地域との交流を広げるための取組を行っている。	㊤・b・c
24	Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし、体制を確立している。	㊤・b・c
Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	Ⅱ-4-(2)-① こども園として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	㊤・b・c
<コメント> (1) 玄関に掲示場所を設け、社会資源や地域の情報を掲示しています。またチラシや冊子を保護者が自由に取れるところに置いています。地域の他の保育園との交流会には積極的に参加できるよう、職員の支援体制を整えています。 (2) 『ボランティア受け入れ規程』に沿って、ボランティアに入ってもらう前に、園児との関わりや個人情報の遵守について説明・指導を行って、小学生や中学生、高校生のインターシップ(就労体験)を受け入れています。 (3) こども園は、地域の子育て家庭に対する支援を行う施設と認識しており、月曜日から金曜日まで園庭開放を行い、地域の親子の方が気軽にこども園に来てもらえる取り組みを行っています。また、地域行事を通して自治会、青年会と交流も行っています。こども発達支援センター、市の子育て支援室、中央児童相談所、近隣の小学校、医療機関、自治会、老人施設等の関係機関との連携も行われています。		

評価対象 III 適切な福祉サービスの実施

III-1 利用者本位の福祉サービス		第三者評価結果
III-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
26	III-1-(1)-① 子どもを尊重した教育・保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	Ⓐ・b・c
27	III-1-(1)-② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した教育・保育が行われている。	Ⓐ・b・c
III-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
28	III-1-(2)-① 利用希望者に対して園選択に必要な情報を積極的に提供している。	Ⓐ・b・c
29	III-1-(2)-② 教育・保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	Ⓐ・b・c
30	III-1-(2)-③ 園等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	Ⓐ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>(1) 「教育・保育計画」の1ページ目に市の「こどもの街宣言」を掲げ、目指す保育教諭像に「子どもを心から愛する保育教諭」や「おとなのやくそく」があり、教育保育方針にも反映されています。子どもの名前には「さん」を付ける事を徹底したり個人を尊重する声掛けの指導をしています。年度初めの職員会議で研修を行ったり、毎月個別の振り返りを行い、必要な対応を行っています。</p> <p>(2) 『プライバシー保護規定』、『運営規定』に「虐待の防止のための措置」があり、日々のミーティングや職員会議等で周知徹底し、子どもの権利擁護に配慮した教育・保育を指導しています。</p> <p>(3) ホームページや園のパンフレットを作成・更新し、子育て支援実施のおたよりを、公民館や児童館など近隣の施設に掲示しています。特に、パンフレットは園の様子が分かる写真や園舎図を入れ込んだり、園紹介・教育保育内容・事業概要の見出しを付けコンパクトでお洒落な出来栄えの分かりやすい内容になっています。</p>		

III-1 利用者本位の福祉サービス (利用者満足)		第三者評価結果
III-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		
31	III-1-(3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	Ⓐ・b・c
III-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
32	III-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	Ⓐ・b・c
33	III-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	Ⓐ・b・c
34	III-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	Ⓐ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>(1) クラス懇談会、家庭訪問、年二回の個人面談、年三回の保育参観などを実施し、子どもや保護者の意向を把握しようと努めています。</p> <p>(2) 苦情解決の仕組みは、主幹保育教諭が苦情の受付を行い、園長が責任者です。第三者委員は、民生委員及び 税理士を任命しています。連絡先の電話番号も記載し、園内掲示がされ、「重要事項説明書」にも記載されています。</p> <p>(3) 今回、2019年9月に実施した50項目に及ぶ保護者アンケート結果は、94.7%の回収率（90件回収/95件配付）で、その内容は、高い保護者満足度となっていました。</p> <p>参考) 前回2018年1月実施時 回収率98.1% (102件回収/104件配付) 保護者満足度 4.5</p>		

ク ラ ス		回収	配付	回収率 (%)	満足度 (5点満点)
3歳	にじ組	11	11	100	4.6
4歳	おひさま組	23	25	92	4.3
5歳	うみ組	26	29	89.7	4.1
5歳	そら組	30	30	100	4.3
園 平 均		90	95	94.7	平均 4.3

☆☆☆ 保護者が感じている “ 識名こども園 ” の魅力の一部抜粋 ☆☆☆

- ① 公園も近いことから、沢山自然に触れる機会があると思う。動物に触れ合うことも多い。(山羊がいる)
- ② うちなぐちや、英語など、様々な言葉、言語に触れる機会を設けている。
- ③ なぎなたやスポーツ指導など、運動に力を入れている。
- ④ 行事が沢山あり、様々な事を経験できる。親子での行事がとても楽しい。
- ⑤ どのクラスの先生でも園児の名前、顔を憶えてくださり、保護者として気軽に先生方に相談などが出来る。

★ 要望もいくつか頂いており、園で精査を行い、順次改善活動も始まっていました。

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス (安心・安全)		第三者評価結果
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
35	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	Ⓐ・b・c
<コメント> (1) リスクの種類別(救急体制、不審者対応、防災等)に責任・役割を明確にした管理体制があり、園長を責任者とし、副園長・主幹保育教諭を中心に職員会議で話し合いを行って記録を残しています。 (2) 小学校主催の心肺蘇生や不審者対応(対話の仕方、さすまたの使い方等)の研修に参加したり、『安全マニュアル』、「安全点検チェックリスト」の内容・項目を定期的に見直しています。		
36	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	Ⓐ・b・c
<コメント> 『保育所における感染症対策ガイドライン』(厚生労働省 2018年版)に沿って対応し、流行している感染症を保護者には、ボードで掲示して知らせたり、「保健便り」で情報提供しています。子ども達には、うがい、手洗い、咳エチケットをしっかりと行うよう指導し、予防しています。熱が出た子が居る場合は保健室で過ごし、他の園児と隔離しています。		
37	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	Ⓐ・b・c
<コメント> 建物は、平成8年9月建築のRC造(鉄筋コンクリート構造)平屋建てで、「S56年6月」以降の設計の為、震度5強程度の地震には、耐震強度があると思われます。いざ、その時の安否確認には、保護者や職員に一斉送信出来るメール・システムや携帯電話での連絡網が整っています。29年度に購入した備蓄保管庫には、水、簡易トイレ等の必需品の備蓄を整備し、次年度さらに内容を充実させようと計画しています。		

那覇市防災マップから、近隣には土砂災害警戒区域や土砂災害危険箇所がある事から、大規模地震、大型台風等での大雨時には、警戒を行う体制としています。

また、毎月避難訓練を実施しており、法人で「水消火器」を持っており、火災対応訓練も実施していました。

Ⅲ-2 教育・保育の質の確保		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する教育・保育の標準的な実施方法が確立している。		
38	Ⅲ-2-(1)-① 教育・保育について標準的な実施方法が文書化され教育・保育が提供されている。	Ⓐ・b・c
39	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	Ⓐ・b・c
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより指導計画が策定されている。		
40	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	Ⓐ・b・c
41	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	Ⓐ・b・c
Ⅲ-2-(3) 教育・保育実施の記録が適切に行われている。		
42	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する教育・保育の実施状況の記録が適切に行われ、教諭間で共有化されている。	Ⓐ・b・c
47	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>(1) 子どもの人権尊重、プライバシー保護の姿勢を基盤として、保育教諭の基本的な保育姿勢、家庭との連携、子育て支援等の標準的な実施方法が、『マニュアル』として作成されていました。また、基本的な生活習慣指導計画、食育計画、保健計画他、様々な遊びを具体的に展開していくための年間計画がきめ細かく作成され、実践に繋がっていました。これらの業務が標準的に実施されていることを、園長、副園長、主幹保育教諭が確認する仕組みがありました。全マニュアルの目次や、一覧表にてマニュアルの改訂履歴が分かる仕組みの構築を期待します。</p> <p>(2) 各クラス担任が「指導計画」を作成し、主幹保育教諭が確認、評価、指導をしています。食事関係は外部搬入先の栄養士や関連法人の厨房職員に相談したり、健康面は学校内科医等にアドバイスをもらっています。特別支援を必要としている園児には「個別指導計画」を作成しています。</p> <p>(3) 子ども一人ひとりの状況は、児童票、指導要録、指導計画等の各種書類に記録し、教諭間で共有する仕組みがあります。子どもの重要な個人情報が記載された「児童票」や「指導要録」等は、『個人情報保護規定』に沿って、紛失、破壊、改ざん及び漏洩防止対策がなされています。  <b>ただ、重要な個人情報（「児童票」や「指導要録」等）の保管期間は、近々、法人の園長会で話し合い、法人で統一し作成するとの事でした。</b></p>		

評価対象 IV 教育・保育の内容

IV-1 教育・保育の基本		第三者評価結果
IV-1-(1) 教育と保育の一体的展開		
44	IV-1-(1)-① 方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した教育・保育課程を編成している。	㊐・b・c
45	IV-1-(1)-② 乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	対象外
46	IV-1-(1)-③ 1・2歳児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	対象外
47	IV-1-(1)-④ 3歳以上児の教育・保育において教育と保育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、教育の内容や方法に配慮されている。	㊐・b・c
48	IV-1-(1)-⑤ 小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、教育・保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮されている。	㊐・b・c
IV-1-(2) 環境を通して行う教育・保育		
49	IV-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境が整備されている。	㊐・b・c
50	IV-1-(2)-② 子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に身体的な活動ができるような環境が整備されている。	㊐・b・c
51	IV-1-(2)-③ 子どもが主体的に活動し、様々な人間関係や友だちとの協同的な体験ができるような人的・物的環境が整備されている。	㊐・b・c
52	IV-1-(2)-④ 子どもが主体的に身近な自然や社会とかかわれるような人的・物的環境が整備されている。	㊐・b・c
53	IV-1-(2)-⑤ 子どもが言葉豊かな言語環境に触れたり、様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が整備されている。	㊐・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>(1) 「全体的な計画」は、全職員が参画して編成し、「幼保連携型認定こども園の教育・保育要領」に明記されている「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」10項目を、各年齢の具体的なねらい・内容に組み入れていました。また、園の教育・保育目標、「心豊かなたくましい子」を育む教育保育を具体的に実践するために、きめ細かく編成されていました。</p> <p>(2) 園庭には様々な樹木、草花、畑があり、小動物飼育では、観察するポイントをきめ細かく掲示することで学びの芽を育むなど、日々子どもたちがあらゆる命への愛情と思いやりを抱き、感性豊かに伸びやかに育ちゆくことを願って環境構成を工夫していました。また全身を使って様々な身体活動ができるような遊具が配置されていました。「できたよカード」では、個人差に配慮しどの子も頑張ればできる段階が設定され、一人ひとりの子どもが自ら目標を持ち様々な運動遊びに取り組めるよう援助していました。</p> <p>(3) 小学校に隣接していることもあり、日常的に職員間の連絡会、相互参観、アプローチカリキュラム・スタートカリキュラム等の合同研修を充実して取り組んでいました。また幼児・児童との関りは保護者も巻き込んで日常的に行われ、就学に向けて滑らかな接続となるような様々な取組が行われていました。</p> <p>(4) 子どもが主体的に遊びこめる魅力ある環境構成が工夫されていました。各保育室には、子どもの興味・関心をとらえ、様々な遊びを継続的に存分に取り組むことができるように、物、時間、空間が適切に準備されていました。また季節の自然物を観察したり、製作や遊びに取り入れることができるような工夫がみられました。週案にはきめ細かく遊びを展開するときの環境構成が記入され、職員間で共有し、高め合う議論がなされていることが確認できました。</p> <p>(5) 基本的な生活習慣の自立に向けて、年齢発達に応じて修得していくように、マニュアルにそって自分で</p>		

きることは自分でやろうとする心を育てるために、一人ひとりの育ちに合わせて、丁寧に援助をしていました。当番活動では、それぞれの年齢にふさわしく子どもが自信をもって活動できるようにとの願いを含めて、発表する機会や食事の準備、小動物の世話、水まき等の様々なお手伝い活動が取り組めるように日々の保育に取り入れていました。

- (6) 遊びを通して学ぶという視点を踏まえた上で、外部講師の指導による「英語」、郷土文化を継承する取組として「ウチナー口」を学んでいました。また当園の理念である「礼にはじまり 礼に終わる」という礼節の姿勢を身に付けることと、しなやかな体作りのため、毎週「薙刀」を取り入れていました。

IV-1 教育・保育の基本		第三者評価結果
IV-1-(3) 教諭の資質向上		
54	IV-1-(3)-① 教諭等が主体的に自己評価に取り組み、教育・保育の改善が図られている。	㊤・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>(1) 自己評価表を取り入れ、保育教諭が主体的に教育・保育の振り返りを行い、園長、副園長、主幹保育教諭とヒアリングを行っていました。クラス会議、週案会議ではきめ細かく日常の保育を点検、評価し、次につながるようなシステムを構築していました。</p> <p>(2) 園内研修として、互いの教育・保育実践を見合い振り返る研修を取り入れていました。今後は、さらに子どもが遊びを通して学びを深めていけるような環境構成について、必要な物、空間作りを具体的に学び合えるような充実した研修を継続的に取り組んでいかれることを期待します。</p>		

IV-2 子どもの生活と発達		第三者評価結果
IV-2-(1) 生活と発達の連続性		
55	IV-2-(1)-① 子ども一人ひとりを受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われている。	㊤・b・c
56	IV-2-(1)-② 障がいのある子どもが安心して生活できる教育・保育環境が整備され、教育・保育の内容や方法に配慮がみられる。	㊤・b・c
57	IV-2-(1)-③ 長時間にわたる教育・保育のための環境が整備され、教育・保育の内容や方法が配慮されている。	㊤・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>(1) 子どもの最善の利益を考慮し、一人ひとりの個別状況を把握して職員間で共通認識し理解を深めつつ、援助していくように研鑽していました。子どもへの言葉かけは、肯定的な言葉かけを心掛けて、日々互いに振り返る機会を持っていました。今後は、園内研修で事例に基づき、全職員で子どもへの関りについて振り返り高め合う等の研修手法を取り入れることで、さらなるスキルアップにつながることを期待されます。</p> <p>(2) 統合保育を通して、子ども同士が互いに育ちあう保育を大切にしていました。支援の必要な子どもの個別計画を短期・長期ときめ細かく作成し、また園内研修を行うなど、職員が共通認識して統合保育に取り組む環境がありました。保護者とは緊密に連携し、子どもの姿を伝えあい、丁寧に支援をしていました。</p> <p>(3) 長時間保育では異年齢での関りを大切に、子ども一人ひとりが家庭的で落ち着いた環境の中で過ごせる</p>		



ように配慮していました。延長保育利用児には軽食を提供、「献立表」にも明記していました。また、日々の活動についての引継ぎについては、「連絡ノート」を利用する等、丁寧に行われるようなシステムを構築していました。

IV-2 子どもの生活と発達		第三者評価結果
IV-2-(2) 子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場		
58	IV-2-(2)-① 子どもの健康管理は、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	㊐・b・c
59	IV-2-(2)-② 食事を楽しむことができる工夫をしている。	㊐・b・c
60	IV-2-(2)-③ 乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう、食事について見直しや改善をしている。	㊐・b・c
61	IV-2-(2)-④ 健康診断・歯科健診の結果について、保護者や教諭に伝達し、それを教育・保育に反映させている。	㊐・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>(1) 子ども全員の健康管理に関する書類は、入園児の記録に、年毎の健診結果、予防接種の状況などを追記し、保管していました。職員会議では全職員が全児の様子を把握し共通認識するように伝えあい、教育・保育に反映させていました。</p> <p>(2) 各保育室で落ち着いて正しい姿勢で食事ができるように環境を整えていました。保育教諭は丁寧に食事援助ができるように、子どものそばに座って一緒に食事をしていました。個々の状況に配慮し、食べる量を調節し完食できる喜びに繋げています。当番活動では、各年齢に合った方法で、配膳や片付け、清掃等、基本的な生活習慣につながるよう配慮がなされていました。また、「食育計画」に基づき、食への関心が広がるように、野菜の栽培、収穫をクッキング活動に展開できるようにしていました。</p>		

健康・保健面での取り組み
<p>健康な心と体を育てる為に、全身を使って体を動かす楽しさを知り、粘り強く最後までやり遂げる心を育て、用具や遊具の安全な使い方や遊び方も伝えています。</p> <p>日々の健康観察、健康診断の実施（歯科検診、内科検診、視力検査、聴力検査、尿・蟻虫検査、身体測定）や対応、その後の経過観察、保護者との連携、園医や医療機関との連携、病気の対応、環境衛生の管理等を定めて子ども達の健康保持増進を図っています。</p> <p>その他、トイレ指導・手洗いうがい指導、生活基本調査、生活習慣の見直し、保健便り配布等も取り組んでいます。</p>

食育に対する取り組み	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仲間と楽しく食べ、安定した情緒の中で園生活を送る</li> <li>・ 食べ物と体の関係に興味を持ち、健康的な生活をする</li> <li>・ 野菜や果物を育て、食する事で食べ物への興味関心を育てる</li> <li>・ 地域の伝統料理を知る</li> </ul> <p>「苦手な物もまずは1口から食べてみる」それから、少しずつ食べられる量を増やし完食へと繋げています。園で育てた野菜でカレーパーティーや地域の名産品を活かし大豆を石臼で挽くゆし豆腐作り、沖縄の伝統のムーチー作り等も楽しみ、当番活動でエプロンや三角巾の着脱の仕方や配膳の仕方等も「食育年間計画」に入れ取り組んでいます。</p>	

IV-2 子どもの生活と発達		第三者評価結果
IV-2-(3) 健康及び安全の実施体制		
62	IV-2-(3)-① アレルギー疾患、慢性疾患等をもつ子どもに対し、主治医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	Ⓐ・b・c
63	IV-2-(3)-② 調理場、水周りなどの衛生管理が適切に実施され、食中毒等の発生時に対応できるような体制が整備されている。	Ⓐ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>(1) アレルギーがある園児に関しては、医師による診断書を提出してもらい、主治医の指示のもと、保護者と連携を取り、「献立表」をチェックしてもらっている。また、厚生労働省作成の『保育所におけるアレルギー対応ガイドライン』（2019年版）に沿って担任保育教諭や栄養士・調理師で、除去食を確認し、誤食を防いでいます。</p> <p>(2) 給食は、委託先OD社で調理したものを外部搬入しています。「給食業務に関する契約書」、「給食業務に関する覚書」（平成31年1月18日付）を確認しました。園長、副園長、主幹保育教諭が、各クラス子ども・保育教諭の声を聞きながら、外部の委託先の栄養士と毎月、給食会議を行っています。『学校給食衛生管理の基準』（平成20年7月10日改訂）、調理従事者の検便の記録 及び 配送車両を確認しました。園では、より一層業者での衛生管理、異物混入対策が進化するよう給食会議での話し合いを重ねていました。</p> <p style="color: green;">定期的に委託先OD社へ訪問しての衛生管理上で重要な記録「調理従事者等の衛生管理点検表」（モーニングチェック）、「中心温度測定表」、「中心温度計の校正の記録」等の確認も行う事を契約書に盛り込むよう、「給食会議」で話し合う事も検討されては如何でしょうか。</p>		

### IV-3 保護者に対する支援

IV-3-(1) 家庭との緊密な連携		第三者評価結果
64	IV-3-(1)-① 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	Ⓐ・b・c
65	IV-3-(1)-② 家庭と子どもの教育・保育が密接に関連した保護者支援を行っている。	Ⓐ・b・c
66	IV-3-(1)-③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けている。	Ⓐ・b・c
67	IV-3-(1)-④ 虐待に対応できる園内の体制の下、不適切な養育や虐待を受けていると疑わ	Ⓐ・b・c

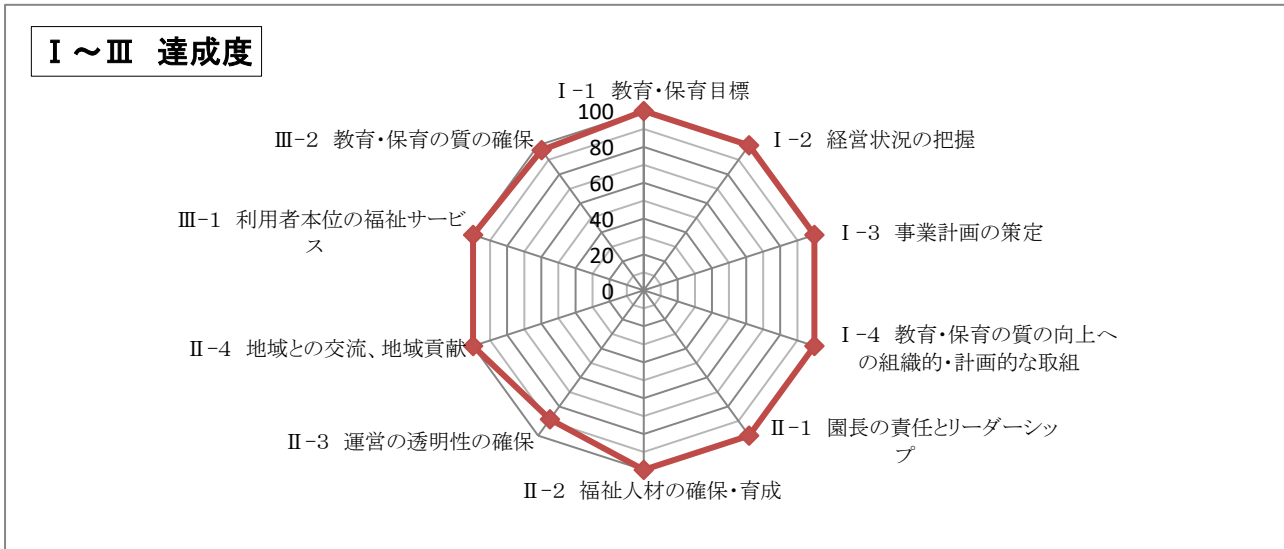
れる子どもの早期発見及び虐待の予防に努めている。
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>(1) 家庭訪問、個人面談、生活リズム見直しカードから、家庭での喫食状況を把握し、その都度食育に関する話題を取り上げ、給食内容や日々の個別食事援助に反映させていました。毎日の給食内容は写真に撮り掲示して食事の様子を伝えています。また、収穫した野菜を展示や、クッキング保育での子どもたちの様子を写真掲示したり、食育便りを発行する等、当園の食育の取組をその都度発信しています。</p> <p>(2) 家庭訪問を年度当初に行い、保育参観3回、個別面談2回を実施していました。さらに家庭との連携を深め、一人ひとりに寄り添った子育て支援をしていくために、日々の送迎時での対応を大切に、個別の相談、要望などを把握、きめ細かく記録に残して、職員間で情報の共有を図っていました。</p> <p>(3) 『虐待防止マニュアル』は全職員に周知し、送迎時親子の様子を観察し、必要がある場合は早期対応を心掛け、担任、主幹保育教諭、副園長、園長が個別対応や相談を行うようにしています。</p>

添 付

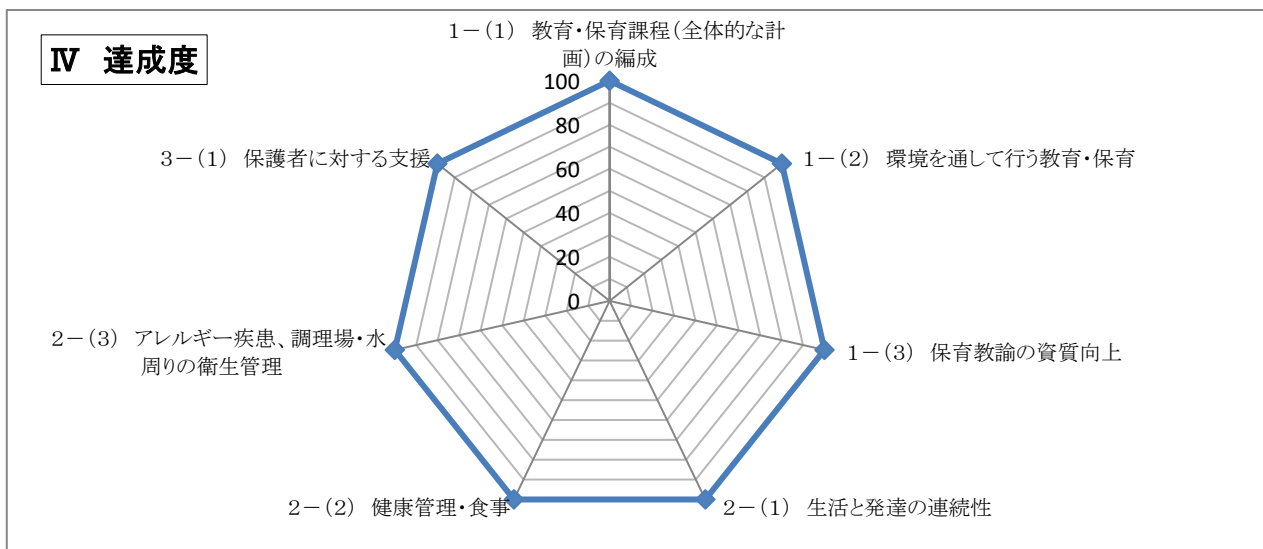
- ① 基準に対する達成度グラフ
- ② 訪問調査当日 10/29 (火) の計画書
- ③ 段取り表
- ④ 2019年9月実施の護者アンケート結果 園全体

以 上

I～III章 園の運営管理 基準への達成度	判断基準		達成率(%)
	基準数	達成数	
I-1 教育・保育目標	6	6	100.0
I-2 経営状況の把握	8	8	100.0
I-3 事業計画の策定	15	15	100.0
I-4 教育・保育の質の向上への組織的・計画的な取組	9	9	100.0
II-1 園長の責任とリーダーシップ	17	17	100.0
II-2 福祉人材の確保・育成	38	38	100.0
II-3 運営の透明性の確保	9	8	88.9
II-4 地域との交流、地域貢献	14	14	100.0
III-1 利用者本位の福祉サービス	61	61	100.0
III-2 教育・保育の質の確保	30	29	96.7



IV章 教育・保育実践 基準への達成度	判断基準		達成率(%)
	基準数	達成数	
1-(1) 教育・保育課程(全体的な計画)の編成	17	17	100.0
1-(2) 環境を通して行う教育・保育	44	44	100.0
1-(3) 保育教諭の資質向上	4	4	100.0
2-(1) 生活と発達の連続性	23	23	100.0
2-(2) 健康管理・食事	27	27	100.0
2-(3) アレルギー疾患、調理場・水周りの衛生管理	9	9	100.0
3-(1) 保護者に対する支援	25	25	100.0



基準に対する達成度グラフ

# 識名こども園 與那覇 利香代 園長殿

いつもお世話になります。訪問調査 2019年10月29日(火)の段取りを ご送付致します。当日、2名で伺います。

「全体的な計画」、「指導計画」、「月案」等が当日いつでも見れるようにご手配お願い申し上げます。

## 訪 問 調 査 計 画 書

ポイント (1) 評価基準65項目に沿った活動がどのように実施されているか？

(2) 業務は標準化されているか、改善は進んでいるか？

(3) 客観性(マニュアル、記録、掲示、習慣)は確保されているか？

2回目	<b>2019年 10月 29日 (火)</b>	
評価員	リーダ 吉山 浩 (HF05-1-0098)	江木 朋子 (HF18-1-003)
9:30	ご挨拶 ①弊社より自己紹介、進め方の説明 ②園長より園の概要説明、強みの説明 ③園内見学	
10:00	I 章 基本方針と組織 (9項目) II 章 組織の運営管理 (16項目) III 章 1 利用者本位の福祉サービス(12項目)  及び 食の担当(60番、62番、63番) * 委託業者との契約書の確認を含む	III 章 2 保育の質の確保(6項目) IV 章 教育・保育の内容(22項目)  除外-乳児対象項目:45番、46番  【教育・保育状況観察含む】  除く:食の担当さんからのヒアリング(60番、62番、63番)
11:50		
昼食	園児と同じ給食を頂きます (当日現金で2人分お支払いします)	
午後 12:40	(上記の続き)	(上記の続き)
14:50	評価員2名で打合わせ (*どこか打合用スペースをお願いします)	
15:10	最終会議 (本日の結果のご説明)	
15:30		

評価員プロフィール : 吉山浩は、キャリア15年のベテランの評価者、江木朋子は元京都市の保育所の所長

注) 1-力を入れて取り組んでいる点、2-食育の取り組みは、当日朝に2部お渡し下さい。

☆ 教育・保育目標、理念、遵守すべき法令名5個が職員に周知徹底されているか、全職員に筆記テストを致します

当日子ども中心の対応でOKです ①終了予定時間 15:30頃 ②適宜、休憩時間を取ります ③当日 9:20頃伺います

# 識名こども園 段取表

チャンスはピンチの顔でやって来る！！

<b>合同段取打合</b> 6/18 (火) 済 4:30~6:00 於:松川こども園	*第1回 <b>勉強会</b> 自己評価サポート (90分程度) 済 講師:吉山 浩	保護者アンケート 済 (配布~回収 14日)			*第2回 <b>勉強会</b> 自己評価サポート (90分程度) 済 講師:吉山 浩	自己評価 弊社へ 済 メール添付 で送付	<b>訪問調査</b> 済 吉山・江木 2人 ◎全職員に教育保育 目標等を筆記テスト	是正確認 (書類) 済 (7日以内)	報告書 (案) 済 送付	園より市へ 報告・ HPで 結果公開
		配付 世帯 (兄)	回収 80% 以上	弊社へ 郵送						
<b>識名こども園</b>  精鋭 5名	8/19 (月) 午後 2:30~4:00 2園合同で 於:識名こども園	9月実施 回収 90 ----- 配付 95 回収率 94.7%			9/10 (火) 午後 2:30~4:00 2園合同で 於:松川こども園	10/11 (金)	10/29 (火) AM9:30-15:30	11/6 (水)	11/8 (金)	11・12月

合同段取打合 6/18 (火) PM4:30~6:00 於:松川こども園		第1回勉強会 8/19 (月) PM2:30~4:00	
			
第2回勉強会 9/10 (火) PM2:30~4:00		訪問調査 10/29 (火) AM9:30~PM3:30	
			

# 識名こども園 園全体 アンケート結果 1

2019年9月 総世帯数 95世帯 回収90/配布95 回収率 94.7%

I 認定こども園の理念・方針 について							
1	認定こども園の理念・方針をご存じですか？	保護者さまの回答（人）					未記入
		⑤	④	3	2	1	
		よく知っている	まあ知っている	どちらともいえない	あまり知らない	まったく知らない	
		12	50	9	18	1	0
2	問1で「よく知っている」または「まあ知っている」とお答えの方 その理念や方針は賛同できるものだと思いますか？	保護者さまの回答（人）					未記入
		5	4	3	2	1	
		賛同できる	まあ賛同できる	どちらともいえない	あまり賛同できない	賛同できない	
		42	19	0	1	0	0
3	問1で「よく知っている」または「まあ知っている」とお答えの方 日頃の教育・保育は、その理念や方針と一致していますか？	保護者さまの回答（人）					未記入
		5	4	3	2	1	
		一致している	まあ一致している	どちらともいえない	あまり一致していない	一致していない	
		25	30	5	2	0	0

# 識名こども園 園全体 アンケート結果 2

2019年9月 総世帯数 95世帯

回収90/配布95 回収率 94.7%



No.	質 問	保護者さまの回答（人）				
		5	4	3	2	1
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	未記入
<b>Ⅱ 入園する時の状況</b>						
4	見学は快く受け入れてくれましたか。	66	3	0	20	1
5	入園前の見学や説明など、園からの情報は得やすかったですか。	60	18	1	9	2
6	入園時に、個別の面接はありましたか。	81	2	3	2	2
7	お子さんの様子や生育歴などをしっかりと聞いてくれましたか。	78	6	2	2	2
8	園の理念や方針、こども園での1日の過ごし方などについて十分な説明がありましたか。	70	15	1	2	2
9	費用やきまり、持ちものなどについて十分な説明がありましたか。	76	10	0	2	2
10	入園前の説明について、入園後の食い違いなどはありませんでしたか。	68	9	8	3	2
<b>Ⅲ 年間の教育・保育や行事</b>						
11	年間の教育・保育や行事について、十分な説明がありますか。	72	15	2	1	0
12	年間の教育・保育や行事には、保護者の要望が活かされていますか。	51	21	6	12	0
<b>Ⅳ 「遊び」について</b>						
13	園の遊びに、お子さんは満足していると思いますか。	65	20	3	1	1
14	園のおもちゃや教材は、お子さんが自由に使えるような体制がとられていると思いますか。	63	13	1	12	1
15	お子さんの発達や意欲を促すような遊具・玩具が十分に用意されていると思いますか。	52	19	3	14	2
16	自然に触れたり地域に関わるなどの散歩や屋外活動は、十分に行われていると思いますか。	76	9	3	1	1
17	遊びを通じてお子さんの健康づくりへの取組がなされていると思いますか。	72	10	1	6	1
18	遊びを通じて物を大切にする心や思いやりの心を育む指導がなされていると思いますか。	63	15	2	9	1



# 識名こども園 園全体 アンケート結果 2

2019年9月 総世帯数 95世帯

回収90/配布95 回収率 94.7%



No.	質 問	保護者さまの回答（人）				
		5	4	3	2	1
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	未記入
<b>V 「生活」 について</b>						
19	昼寝や休息は、お子さんの状況に応じた対応がされていると思いますか。	67	8	3	11	1
20	お子さんの体調について、常に心配りされていると思いますか。	73	13	2	1	1
21	献立表やサンプル表示などで、毎日の給食の内容が分かるようになっていますか。	83	4	1	1	1
22	給食のメニューは充実していると思いますか。	57	21	7	4	1
23	お子さんは給食を楽しんでいると思いますか。	61	20	5	3	1
24	一人一人に適した量やその日の体調に合わせた調理方法等の配慮がなされていると思いますか。	49	14	5	21	1
25	食事への配慮が必要な場合（離乳食、アレルギー等）、保護者との十分な連携がとれていると思いますか。	57	4	2	25	2
<b>VI 快適さ や 安全対策</b>						
26	園舎・園庭などの施設に満足していますか。	46	31	12	0	1
27	お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっていますか。	69	15	2	3	1
28	外部からの不審者侵入に対する備えは万全だと思いませんか。	22	32	20	15	1
29	お子さんや家庭のことについて相談した内容が、他人に漏れていたというような経験はありますか。	2	4	73	10	1
30	衛生管理や感染症対策は適切に行われていると思いますか。	44	27	3	15	1
31	大規模地震への対策は適切に行われていると思いますか。	25	26	1	37	1

# 識名こども園 園全体 アンケート結果 2

2019年9月 総世帯数 95世帯

回収90/配布95 回収率 94.7%



No.	質 問	保護者さまの回答 (人)				
		5	4	3	2	1
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	未記入
<b>VII 園と保護者との連携・交流</b>						
32	保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会は十分だと思いますか。	71	12	3	3	1
33	園だよりや掲示、連絡帳などにより、園の様子や行事について十分な情報提供がありますか。	73	14	1	1	1
34	園の行事の開催日や時間帯は、保護者が参加しやすいように配慮がされていますか。	65	20	2	2	1
35	登園時やお迎え時に、お子さんの様子についての確認・説明がありますか。	55	17	11	5	2
36	子育てに関する気がかりな点や悩み等について、気軽に個別相談ができますか。	59	19	7	4	1
37	開園時間内であれば、急な残業や不定期な業務に対して柔軟に対応してくれますか。	64	9	1	14	2
38	連絡網などにより緊急時の連絡体制はきちんととれていますか。	64	12	2	11	1
<b>VIII 教諭の対応</b>						
39	あなたのお子さんは園の生活を楽しんでいると思いますか。	74	13	2	0	1
40	担当教諭はお子さんの良いところや個性を認めていますか。	75	9	1	4	1
41	教諭の教育・保育姿勢や対応はだいたい同じ(ばらつきが少ない)ですか。	50	25	3	11	1
42	園長や教諭に対して不満や要望を気軽に言うことができますか。	54	19	9	7	1
43	不満や要望には的確に応えてくれますか。	53	19	4	12	2
44	教育・保育中の急な発熱や病気、事故等に対して、責任を持って適切に対応していますか。	67	11	2	9	1
45	アレルギーのあるお子さんや障がいのあるお子さんへの配慮は、十分なされていますか。	46	10	1	31	2

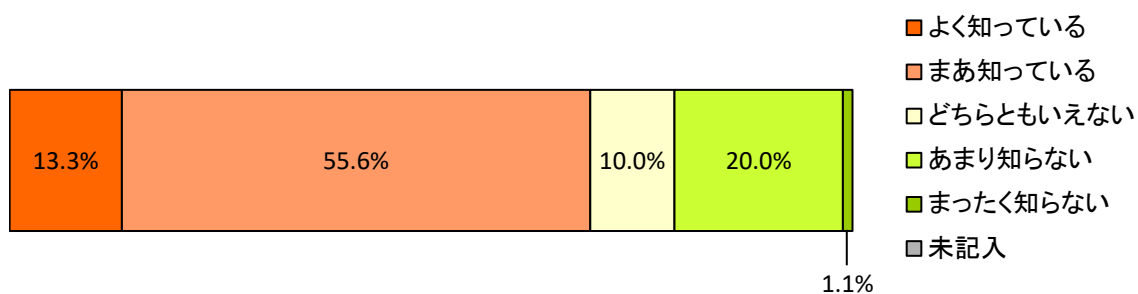
識名こども園 園全体 アンケート結果 3

Ⅸ 総合満足度						
5段階評価 ⇒ 4.3		保護者様の回答（上段：人 下段：%）				
		⑤	④	③	②	①
		満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	不満
回答数 (人)	87	42	34	6	4	1
	未記入3	48.3%	39.1%	6.9%	4.6%	1.1%

# 識名こども園 園全体 アンケート結果 グラフ1

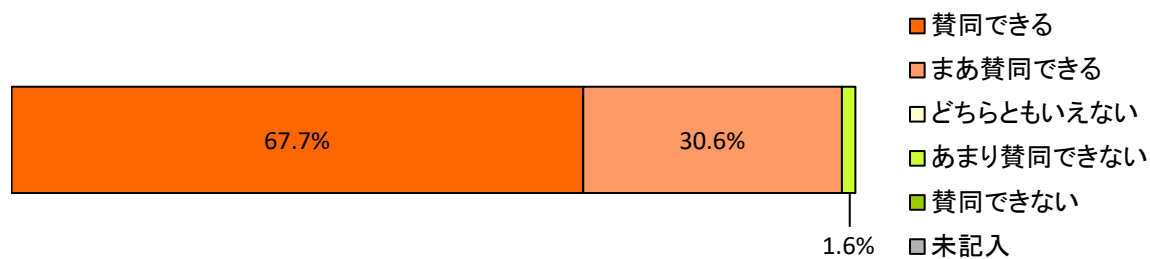
## 【 I 認定こども園の理念・方針について】

1, 認定こども園の理念・方針をご存じですか。

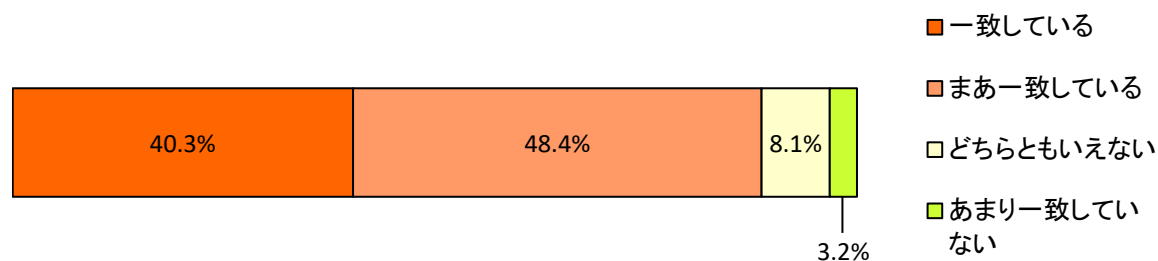


「よく知っている」または「まあ知っている」とお答えの方

2, その理念や方針は賛同できるものだと思いますか？



3, 日頃の教育・保育は、その理念や方針と一致していますか。



## 識名こども園 園全体 アンケート結果 グラフ2

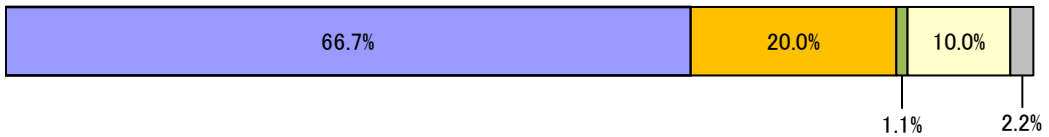
はい
  どちらともいえない
  いいえ
  わからない
  未記入

### 【Ⅱ 入園する時の状況】

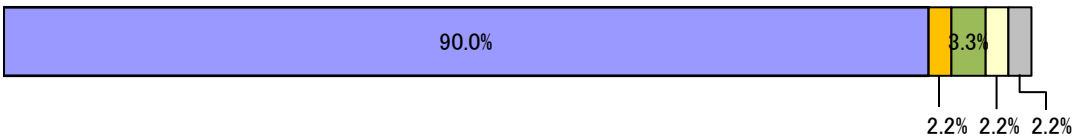
4, 見学は快く受け入れてくれましたか。



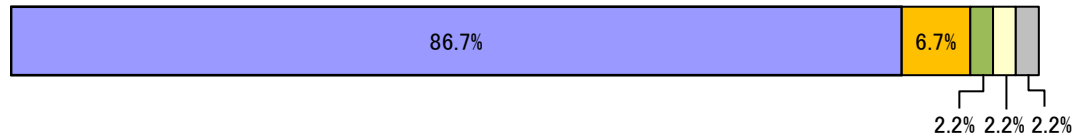
5, 入園前の見学や説明など、園からの情報は得やすかったですか。



6, 入園時に、個別の面接はありましたか。



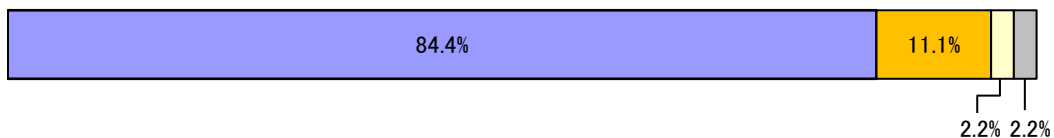
7, お子さんの様子や生育歴などをしっかりと聞いてくれましたか。



8, 園の理念や方針、こども園での1日の過ごし方などについて十分な説明がありましたか。



9, 費用やきまり、持ちものなどについて十分な説明がありましたか。



10, 入園前の説明について、入園後の食い違いなどはありませんでしたか。

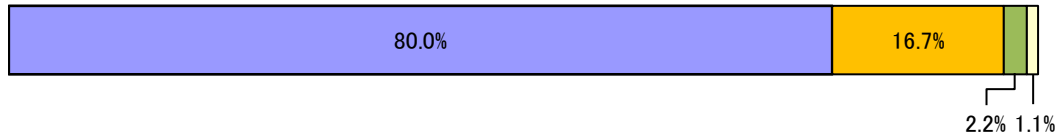


## 識名こども園 園全体 アンケート結果 グラフ3

はい
  どちらともいえない
  いいえ
  わからない
  未記入

### 【Ⅲ 年間の教育・保育や行事】

11, 年間の教育・保育や行事について、十分な説明がありますか。



12, 年間の教育・保育や行事には、保護者の要望が活かされていますか。

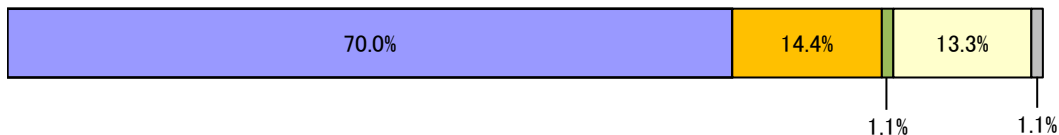


### 【Ⅳ 「遊び」について】

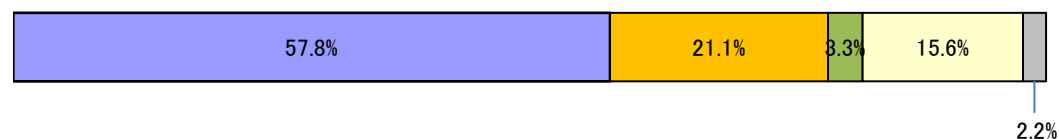
13, 園の遊びに、お子さんは満足していると思いますか。



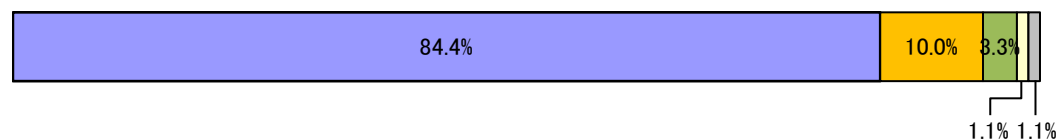
14, 園のおもちゃや教材は、お子さんが自由に使えるような体制がとられていると思いますか。



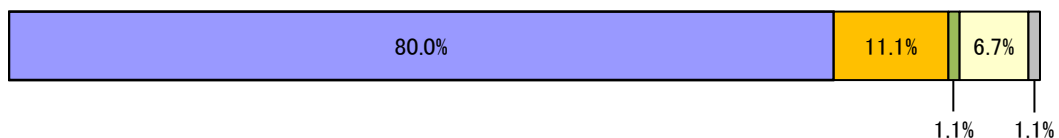
15, お子さんの発達や意欲を促すような遊具・玩具が十分に用意されていると思いますか。



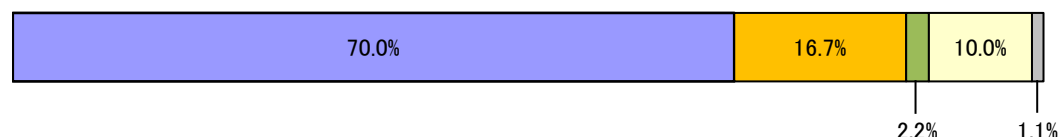
16, 自然に触れたり地域に関わるなどの散歩や屋外活動は、十分に行われていると思いますか。



17, 遊びを通じてお子さんの健康づくりへの取組がなされていると思いますか。



18, 遊びを通じて物を大切にする心や思いやりの心を育む指導がなされていると思いますか。



## 識名こども園 園全体 アンケート結果 グラフ 4

はい
  どちらともいえない
  いいえ
  わからない
  未記入

### 【V 「生活」 について】

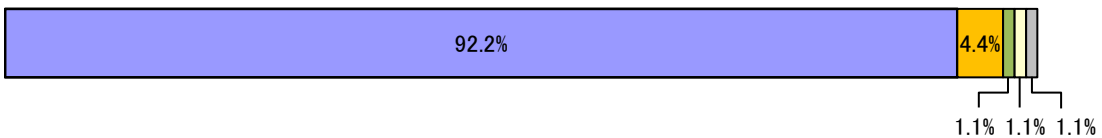
19. 昼寝や休息は、お子さんの状況に応じた対応がされていると思いますか。



20. お子さんの体調について、常に気配りされていると思いますか。



21. 献立表やサンプル表示などで、毎日の給食の内容が分かるようになっていきますか。



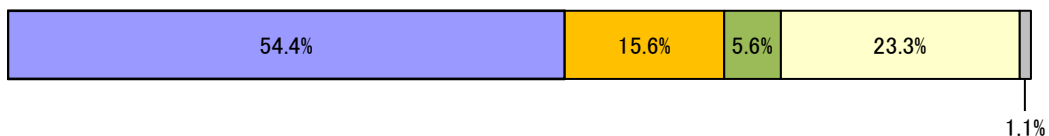
22. 給食のメニューは充実していると思いますか。



23. お子さんは給食を楽しんでいると思いますか。



24. 一人一人に適した量やその日の体調に合わせた調理方法等の配慮がなされていると思いますか。



25. 食事への配慮が必要な場合(離乳食、アレルギー等)、保護者との十分な連携がとれていると思いますか

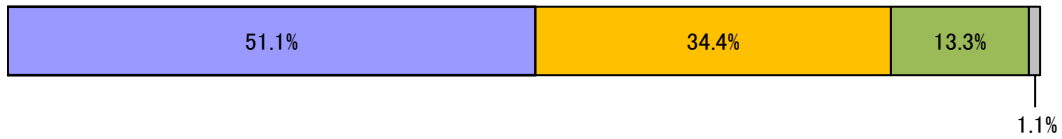


識名こども園 園全体 アンケート結果 グラフ5

■ はい
 ■ どちらともいえない
 ■ いいえ
 ■ わからない
 ■ 未記入

【VI 快適さ や 安全対策】

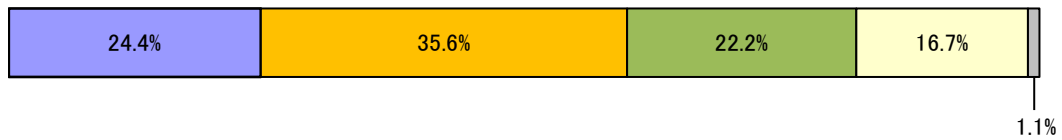
26, 園舎・園庭などの施設に満足していますか。



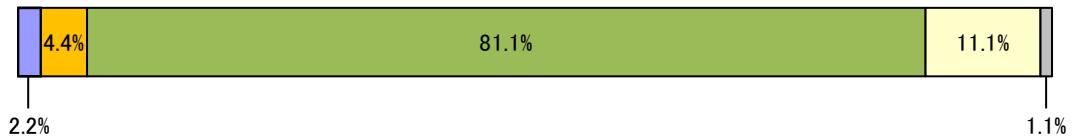
27, お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっていますか。



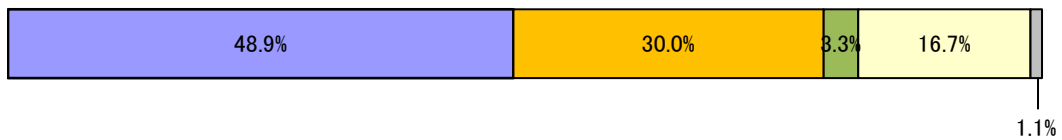
28, 外部からの不審者侵入に対する備えは万全だと思えますか。



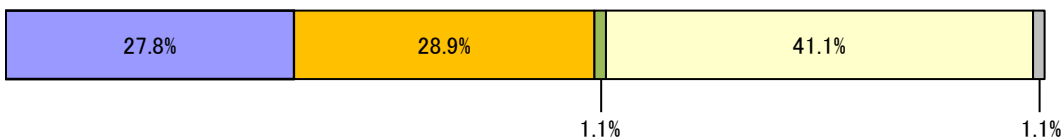
29, お子さんや家庭のことについて相談した内容が、他人に漏れていたというような経験はありますか。



30, 衛生管理や感染症対策は適切に行われていると思えますか。



31, 大規模地震への対策は適切に行われていると思えますか。





## 識名こども園 園全体 アンケート結果 グラフ 6

はい
  どちらともいえない
  いいえ
  わからない
  未記入

### 【Ⅶ 園と保護者との連携・交流】

32, 保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会は十分だと思いますか。



33, 園だよりや掲示、連絡帳などにより、園の様子や行事について十分な情報提供がありますか。



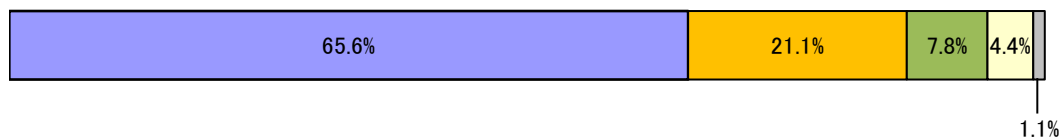
34, 園の行事の開催日や時間帯は、保護者が参加しやすいように配慮がされていますか。



35, 登園時やお迎え時に、お子さんの様子についての確認・説明がありますか。



36, 子育てに関する気がかりな点や悩み等について、気軽に個別相談ができますか。



37, 開園時間内であれば、急な残業や不定期な業務に対して柔軟に対応してくれますか。



38, 連絡網などにより緊急時の連絡体制はきちんととれていますか。



## 識名こども園 園全体 アンケート結果 グラフ 7

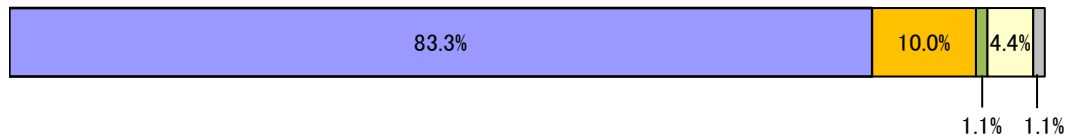
はい
  どちらともいえない
  いいえ
  わからない
  未記入

### 【Ⅷ 教諭の対応】

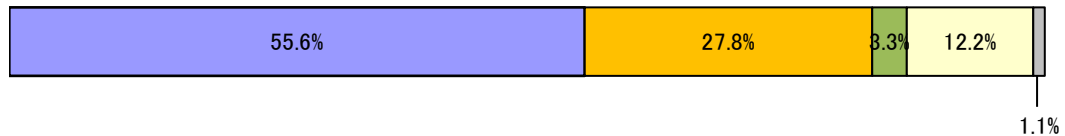
39, あなたのお子さんは園の生活を楽しんでいると思いますか。



40, 担当教諭はお子さんの良いところや個性を認めていますか。



41, 教諭の教育・保育姿勢や対応はだいたい同じ(ばらつきが少ない)ですか。



42, 園長や教諭に対して不満や要望を気軽に言うことができますか。



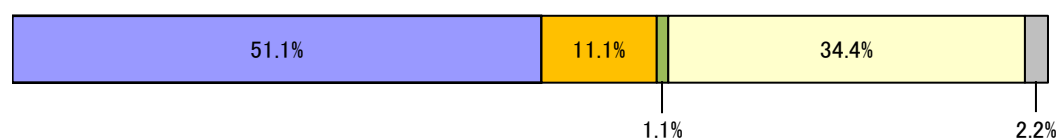
43, 不満や要望には的確に応えてくれますか。



44, 教育・保育中の急な発熱や病気、事故等に対して、責任を持って適切に対応していますか。



45, アレルギーのあるお子さんや障がいのあるお子さんへの配慮は、十分なされていると思いますか。



### 【Ⅸ 総合満足度】 5段階評価 4.3

満足
  やや満足
  どちらともいえない
  やや不満
  不満

